

## カルチャー講座開講



営農課は12月上旬、「JAカルチャー講座」を開講しました。同講座は組合員をはじめ、地域住民が趣味を楽しみながら交流することを目的としており、毎年行っています。

料理や茶道、絵手紙など全13講座を用意し、受講者は令和8年2月まで交流を楽しみます。



カルチャー講座 料理教室

## 次世代リーダー発表で最優秀賞



12月12日、JA青森中央会が開いた「次世代リーダー育成研修会修了発表会」で、人事教育課の葛西恭子主任が最優秀賞を受賞しました。

葛西主任は「働きがいのあるJAを目指して~みらいを描ける職場環境づくり」と題し、人事考課戦略を提案。職員のモチベーション低下や離職を防ぐため、所属長との定期面談やなりたい職員像を記す「みらいノート」の作成を提起しました。

葛西主任は、令和8年2月に開催される第16回JA戦略型中核人材育成研修全国研究発表会に出場します。



最優秀賞を受賞した葛西主任（中央）

## おはぎプリンセス作り教室



営農課は12月15日、本店でおはぎプリンセス作り教室を開き、組合員10人が参加しました。

参加者は講師の説明を聞きながら、丸型に整えたもち米を、カラフルなあんこでデコレーションし、最後に人型のプレートをおはぎにさして、ドレスをイメージしたおはぎに仕上げました。



作り方を教わる参加者（左）

## 職員がライフサポーターの資格を取得



常盤支店の古川知里主任が、ライフサポーターの資格を取得しました。今回は県内のJA職員10人が受講し、当JAでは4人目の認定となりました。

ライフサポーターは個人の資金計画や人生設計をサポートするため、金融、税金、年金などの幅広い知識を必要とする資格です。12月10日には本店で認定式が行われ、奈良寧組合長から認定証が渡されました。



認定証を受け取った古川主任（中央）